

令和2年1月28日

保護者 様

人吉市立第二中学校
校長 白濱 雄志

情報安全・情報モラル教育について（お知らせ）

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。また、日頃より、本校教育活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、本校におきましては、昨今の情報通信機器の普及に伴い、SNS上でのトラブル等を懸念しているところです。

つきましては、このことについて、下記のとおり県作成資料を配付いたします。ご家庭におかれましても、生徒の健全育成のため、ご指導をお願いいたします。

なお、県作成資料は、全10回分となっております。

記

- 情報モラル啓発資料（第10号）

インターネット上での出会いのきっかけ

子どもたちがインターネット上のアプリで知り合った人と実際に会って、トラブルに巻き込まれてしまう事案が相次いでいます。新聞やテレビなどでこうしたニュースを目にされた方も多いのではないでしょうか。

では、子どもたちはどのようなアプリで面識のない人と知り合っているのでしょうか。今回は、そんなインターネット上での出会いのきっかけについてお話しします。

こんなアプリの利用がきっかけに

子どもたちは、以下のようなアプリ上で面識のない人と知り合うことが多いようです。

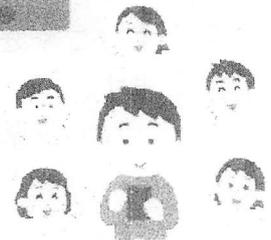
・SNS

多くのSNSには、DM(ダイレクトメッセージ)という、特定の利用者と個人的にやりとりできる機能があります。他者とのコミュニケーションの手段として日常的にSNSのDMを使っている子どもたちも多く、面識のない人とDMでやりとりし、仲良くなったら無料通話アプリなどの連絡先を交換するというケースもあります。



・オンラインゲーム

複数名でチームを組んでプレイするオンラインゲームでは、一緒にプレイする仲間をSNSなどで募集することがあります。チーム内では、電話のようにおしゃべりができる「ボイスチャット」を使って会話をしながらゲームをプレイすることが多く、そういった交流から個別でのやりとりにつながっていくケースがあります。



・コミュニティアプリ

コミュニティアプリでは、匿名で面識のない人とメッセージのやりとりをしたり、新しい友だちを見つけたりすることができます。年齢制限が設けられているアプリもありますが、簡単に年齢を偽れるものも多く、18歳未満の利用が禁止されているアプリを子どもたちが利用していたり、学生限定のアプリを社会人が利用していたりすることも少なくありません。

こんな投稿に注意

インターネット上には、子どもたちと出会い誘い出すことを目的に、上記のようなアプリを利用している悪意のある大人がいます。こうした大人がターゲットにしがちなのが、ネガティブな投稿をしている子どもたちです。

「寂しい」「つらい」「家出したい」などのネガティブな書き込みをしている子どもたちに片っ端からメッセージを送って、やさしい人の振りをして相談に乗り、自分のことを信用させてから誘い出そうとするのです。



インターネットで知り合った人を信用して会いに行くと、性的被害を受けたり、誘拐されたりする可能性もあります。「インターネットには悪意のある大人もたくさんいるんだ」ということを子どもたちに理解させ、インターネットで知り合った人とは絶対に会わないよう、あらためて指導していくことが大切です。